

行事实施日	平成29年5月28日(日)	
内 容	自然科学部が形的町の福泊海岸で海浜植物の植生調査を実施	
記事掲載日	平成29年5月29日(月)	朝日新聞朝刊 第27面

福泊海岸 植物すくすく 中高生が分布調査

姫路市的形的町の福泊海岸で28日、播磨の中高生たち約40人が、自生する海浜植物の植生調査をした。各校の教諭や県生物学会西播



磨支部の会員ら約10人が指導にあたり、分類や分布などを調べた。同支部によると、同海岸は1989年に砂を入れて

造成された人工海浜で、2002年に海浜植物の生育を確認、05年から毎年調査をしている。若い世代に環境問題に関心を持ってもらいたいと、高校生らを調査の主役としている。

調査したのは姫路飾西や相生、淳心学院など8校の高校生と、私立高校の付属中学校の生徒たち。約200畝の海岸で1畝四方ごとに、何種類の植物が、それぞれどの割合を占めて生育しているかを調べていった。

造成から30年近くが経ち、海岸にはハマヒルガオ、ハマボウフウなど20種

類ほどが自生。今年はやメリカネナシカブと見られる植物も確認された。

中学1年生の時から今年で4回目の参加になる、賢明女子学院高2年の伊賀綾音さん(16)は「最初に比べ緑が増えていると思う。やりがいがあります」。

同支部の芦谷直登支部長(56)は「参加した生徒たちが、家族や友達と海岸で遊んだ時に植物の名を教えるなど、自然への関心を広めてくれると思う」と話していた。

(伊藤周)

潮	
30日・中潮	
姫路港	
満潮	3.06
	13.15
干潮	9.33
	19.40